

この章のテーマ

1. 賜物は、神様との交わりが豊かになるために与えられているので、大胆に喜びつつ賜物を生かして人生を豊かにしてゆきましょう。
2. 三つの愛を育てる具体的な務めとして奉仕をいたしましょう。

【賜物】

それぞれが賜物を受けているのですから、神のさまざまな恵みの良い管理者として、その賜物を用いて、互いに仕え合いなさい。
(1ペテロ4:10)

「賜物」とは、神様からのプレゼントという意味です。

あなたはたくさんのプレゼントを頂いていると思いますが、あなたの中にも神様から与えられたきらきら輝くプレゼントがたくさんあります。

あなたは、「自分の中にある賜物とは何だろうか？」と探しておられるかもしれません。

賜物とは、あなたが関心をもっておられることです。

あなたはどんなことに関心をもっておられますか？… 歌ですか？ 花ですか？ 本を読むことですか？ 絵を描くことですか？ 子どもの教育ですか？ 困っている人を助けることですか？ 外国語ですか？ 人々を励ますことですか？ 日曜大工ですか？ スポーツですか？ 料理ですか？ あなたが関心をもっておられること、それがあなたの賜物です。

ではその賜物は何のために与えられているのでしょうか？

それはあなたと神様との交わりが豊かになるためなのです。

賜物を使っている時、あなたは神様に感謝することが多くなるはずです。

花の世話をすることに関心をもっておられる方は、花の世話をしながら神様のみ業に驚くことがあるのではないのでしょうか？

「この花の色は何てすばらしいのだろう。神様は最高の芸術家だなあ。」

「枯れてしまったと思っていたのに、この花は命を吹き返した。神様はすばらしいものを創造されたのだなあ。」

歌に関心をもっている方は、讚美しながら神様に近づかれるのではないのでしょうか？

賜物は、あなたと神様との交わりがさらに楽しくなるために与えられているのです。他の人があなたの賜物を高く評価してくれなくてもかまいません。他の人がたとえあなたのことを音痴だといったとしても、あなたは歌を歌うことに関心があるならそれはあなたの賜物です。

あなたは神様の前で歌い、神様に近づいて行くのです。ですから大いに歌ってください。



【奉仕】

そういうわけですから、兄弟たち。私は、神のあわれみのゆえに、あなたがたにお願いします。
あなたがたのからだを、神に受け入れられる、^聖い、生きた供え物としてささげなさい。
それこそ、あなたがたの霊的な礼拝です。 (ローマ12章1節)

「奉仕」は、英語でサービスといいます。ですから奉仕には、「神様に喜んでいただく」という思いが込められているのです。

人生の目的は三つの愛に生きることでした。

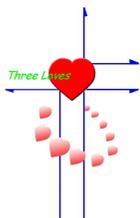
(0) 神様のご愛に応えて…

- (1) 神様を愛する
- (2) 自分を愛する
- (3) 人々を愛する

この三つの愛と奉仕は密接に関わっていることにお気づきになったと思います。

ですから、奉仕というのは、タダ働きとか、してもしなくても良いというものではありません。むしろ、奉仕をすることは私たちの存在に関わることであり、奉仕をすることによって私たちは^{いきいき}生き生きし成長することができるのです。

あなたは、神様と自分と人を喜ばせる愛のわざ(=奉仕)を家庭や社会や教会でしておられると思いますが、ここでは教会の奉仕について一緒に考えたいと思います。



【教会の奉仕】

さて、御霊の賜物にはいろいろの種類がありますが、御霊は同じ御霊です。奉仕にはいろいろの種類がありますが、主は同じ主です。働きにはいろいろの種類がありますが、神はすべての人の中ですべての働きをなさる同じ神です。 (I コリント 12 章 4-7 節)

教会には奉仕の場がたくさんあります。

緑の牧場キリスト教会は、奉仕についてのアンケートをお願いし、そのアンケートに基づいて奉仕を分担してゆきます。どうぞチャンスをとらえて積極的に奉仕してください。

「このようなことはしたことがないので・・・」と思うような時もぜひ、トライしてください。そうすることで、今まで自分で気づけなかった自分に与えられているすばらしい賜物に気づくかもしれません。

「あまり関心がない」と思っていたことなのに、始めてみると興味がどんどん湧いてきて結局、生涯の仕事になったということも起こるかもしれません。

80：20の法則（パレートの法則）と呼ばれる経験則があります。全体の2割程の人が全体の8割の働きをしているというものです。

しかしながら、教会はイエス様の弟子の集まりです。イエス様の無条件の赦しと愛に精一杯答えようとするものたちの生命共同体です。

全員が心を合わせて三つの愛を育成すべきであるのに、もし全員の中の2割の人だけの奉仕が教会の働きのほとんどを支えている、ということになったら非常に残念なことをしていることになります。それぞれがごいっしょに奉仕し合い、生き活きと生き、思いと力を合わせてすばらしい教会にしてゆきましょう。

礼拝奉仕などはアンケートに基づいて分担してゆきます。けれども、それだけでは教会の働きが欠けてしまう場合もあります。例えば、教会学校の働きはとても大切であるけれども、教会学校の教師のなり手がいない場合などがあります。そのような場合には、ごく一部の兄弟姉妹方に任せるのではなく、その必要性のゆえに共に奉仕を担い合いましょう。



1. 次のうち、正しいと思うものに○印を、まちがいと思われるものに×印をつけてください。 (各5点、40点)

- 賜物とは、神さまからのプレゼントという意味です。
- 賜物を受けている人と受けていない人がいます。
- 賜物は、いただいたものですから、それは自分のために役立つものです。
- 奉仕は英語でサービスといいます。ですから奉仕という言葉には、神さまに喜んでいただくという思いが込められています。
- 奉仕と三つの愛は別々のもので、関連はほとんどありません。
- 福音の中に生き、福音を共に担う者として、奉仕することは必要不可欠なことです。
- 教会の奉仕は、信仰暦の長い人がするものですので、教会員になったばかり人は奉仕を遠慮しなければなりません。
- 奉仕は、間違いや遅刻は大目に見てもらえますから、いいかげんにしても大丈夫です。

2. 次の文の、□の中に適当と思う字を入れてください。(□に一字ずつ) (各10点、50点)

a) 「それぞれが賜物を受けているのですから、神のさまざま恵みの良い □□□として、その賜物を用いて、□□□□□□□□なさい。」 (1ペテロ4：10)

b) 賜物はあなたと□□との交わりが豊かになるために与えられています。

c) 「あなたがたのからだを、神に受け入れられる、聖い、生きた□□□としてささげなさい。それこそ、あなたがたの霊的な礼拝です。」 (ローマ12：1)

d) 奉仕をすることは私たちの□□に関わることであり、奉仕をすることによって私たちは生き生きし□□□□ことができます。

f) 教会の働きはその必要性のゆえに□□奉仕を担い合ひましょう。

3. 教会の奉仕について考えてみてください。あなたはどんな奉仕をしたいと思われませんか？いくつ書かれてもオッケーです。 (10点)

-
-
-
-
-





ホームページにいきます

<http://midori.church.jp/>

日本バプテスト連盟

緑の牧場キリスト教会（みどりのまきばきりすときょうかい）

広島県東広島市西条町田口2799

牧師 酒井敬仁

マイルーツをされた方、
よかったらご連絡ください。

